

原油・石油製品市況

2010/3/17 8:06
岡藤商事株式会社

ニューヨーク市場							東京市場		
	限月	始値	高値	安値	終値	前日比		終値	前日比
原油	4月	79.84	82.10	79.32	81.70	1.90	原油先物 (先限)	44,220	-930
	5月	80.09	82.36	79.59	81.97	1.89			
改質ガソリン (米ドル)	4月	2.2220	2.2870	2.2180	2.2750	0.0522	ガソリン先物 (先限)	53,650	-810
	5月	2.2250	2.2845	2.2205	2.2738	0.0488			
ヒートンクオイル	4月	2.0631	2.1230	2.0452	2.1143	0.0567	灯油先物 (先限)	51,800	-1,160
	5月	2.0736	2.1334	2.0585	2.1253	0.0561			
		安値	高値		安値	高値			
ガソリンスポット		54,600	55,300	ドバイ原油	75.73	75.78			
灯油スポット		52,000	52,500	マソ原油	76.14	76.19			
軽油スポット		54,500	54,800						

ドバイ原油、オマーン原油の価格は、日本時間の前日午後3時現在

【国内石油現物】

16日の京浜石油製品は、ガソリンは下落した。原油安を映す。前日と同様に、元売りの市中調達買いを背景に下げ幅は抑えられた。業者間取引は年度末接近や、海陸格差縮小で様子見ムードが強い。4月以降の定修シーズンに関心が向けられている。

灯油は下落した。ここに来ての気温上昇もあり下落気味。関東では夏日を記録した。ただし、シーズンオフに向けて現物需給は逼迫気味で、出物薄は変わらず。

【ニューヨーク石油】

16日のNY原油は反発した。FOMCの声明発表を前に、超低金利政策継続への期待から大きく買いが集まった。4月限は夜間取引ではやや売りが優勢で推移したものの、NY早朝に80ドルの節目を回復すると、後は買い一色の相場展開となった。

ドル安や株高の進行も支えとなり昼前には一気に82ドル台まで値を伸ばした。その後はさすがに買いの勢いも一服したものの、日中高値圏はしっかりと維持したまま取引を終了した。

17日のOPEC総会での生産据え置き見通しもサポート要因となった。サウジアラビアのヌアイミ石油鉱物資源相は16日、石油需要が増加する兆候が幾つかあり、OPECが今年、供給に関して何らかの行動を起こす必要はない可能性がある、との見方を示した。

石油製品も急反発した。在庫減少見通しなども好感された。

[商品先物取引に係る留意点について]

2010年3月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年3月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約32倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。